



# 神楽島



長崎市立式見小学校  
校長 中尾 善蔵



## 小音会に出場しました

子ども達に音楽に親しんでもらおうと開かれた長崎市小学校音楽会。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で3年ぶりの開催となりました。

長崎市内72の小学校からおよそ3,300人が参加し、11月8日～10日までの3日間に分かれて、長崎ブリックホールで開催されました。

2学期に入り、4・5年生は、各パートに分かれて練習を積んできました。特に5年生は、修学旅行の準備と並行して取り組んできただけに、指導や子ども達の負担も大きかったと思います。

小音会当日は、各学校の子ども達が工夫を凝らした演奏や歌を披露していました。式見小学校の子ども達も、とても緊張した様子でしたが、素晴らしい演奏で、練習通りの成果を披露することができました。

2学期の大きなイベント、「小体会」「交歓会」「小音会」が終了しましたが、当日までに練習に励んだ子ども達は、間違いなく成長しています。ご家庭でも、本番に向け、保護者の皆様の声掛けやご支援があったことだと思います。支えていただき、本当にありがとうございました。

今回も、残念ながら無観客での小音会となったため、保護者の方々が参加することは叶いませんでしたが、子ども達の様子は、式見小のホームページに掲載しています。ご覧ください。



## 滋賀県へ出張してきました

小音会が終了した後、11日（金）まで滋賀県へ出張していました。第61回全国学校体育研究大会（滋賀大会）に参加するためです。

長崎県小学校教育研究会体育部副部長という立場で参加させていただきました。

小学校の教員という立場、全教科指導しないとはいけませんが、式見小学校初任者の時代、長崎市教育委員会研究委託で体育を研究していたことから、32年間、体育科の研究に携わってきました。現在の私があるのも、体育科を通じた先輩の先生方、同僚、後輩の先生たちのおかげです。

大会では、これまでに体育科の指導や行政等で貢献されてきた方や団体の功労者表彰から始まり、話題の「運動部活動の地域移行」に関する教育行政（文科省）説明、学習指導要領に基づく解説、シンポジウム、特別講演、各校種ごとの公開授業・研究協議と、内容が盛りだくさんの大会でした。

「豊かなスポーツライフの実現を目指した、子ども達の発達段階に応じた系統的な体育・保健体育学習の充実」に向け、後進の育成に取り組んでいきたいと思います。

## あるメモ…

週末、娘のアパートが手狭になり、余分な荷物を受け取るため、福岡市まで行ってきました。

末っ子で、物怖じせず勝手気ままに生き、衝突することはばかりの学生生活でしたが、現在、保育士として、大事な子ども達を預かる、責任ある職業に就いています。

ふと、壁に貼っているメモに目が留まりました。できるかどうかはわかりませんが、自分への戒めや教訓、自己啓発のために気を付けようとしているのでしょうか。あえて、詮索をするのはやめ、そのことには一切触れずに帰ってきましたが、彼女なりに自分を振り返るために貼ったのでしょうか。ほんの少し、社会人としての自覚が芽生えてきていることを感じ、嬉しく思いました。

## 「何をしてもうまくいく人の特徴」

- 自分から挨拶をする
- 連絡はすぐ返す
- 「ありがとう」が言える
- 間違いを認める
- 約束を守る
- 締め切りを守る（待ち合わせに遅れない・支払いも…）
- うそをつかない
- 悪口を言わない